

お客様各位

2022年1月吉日  
エスペック株式会社

## エスペック×JQA 共同ウェビナーのご案内

### 『自動車部品の国際的な評価動向とソリューション ～EMCと環境評価～』

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。この度、一般財団法人日本品質評価機構（JQA）と共同ウェビナーを開催いたします。電磁両立性（EMC）と環境評価の観点から、自動車部品の国際的な評価動向と2社がご提供できるソリューションをご紹介します。ご多忙中とは存じますが下記ご参照頂き是非ご聴講頂ければ幸いです。

敬具

記

#### 開催要項

日 時：2022年2月25日（金） 13:00～15:00

場 所：オンラインでの開催（事前申込が必要です）

受講料：無料

申込方法：下記 URL の WEB サイトよりお申込ください。

セミナー会場への入場には弊社から別途ご案内する入場キー(URL)が必要となりますので、必ず以下のお申込みフォームより申込みをお願いします。

締切日：2022年2月23日（水）

定員に達し次第申込みを終了いたします。

## ■ お申込みフォームはコチラ ↓ ↓ ■

<https://espec-jqa.satori.site/seminar>

- \* 先着順での受付となりますのでお早めにお申し込みください。
- \* 当社同業の企業様からの申込はご遠慮いただく場合がございます。予めご了承ください。

<問合せ先>

エスペック×JQA 共同ウェビナー 事務局

[Mail] [seminar-tc@espec.co.jp](mailto:seminar-tc@espec.co.jp)

以上

## 講演内容

\* 下記は講演順序ではございません。

\* 講演内容・発表者は変更する場合がございます。

自動車部品を取り巻く環境では電動化・自動運転の進展に伴い大電力製品や通信デバイスの増加、さらには取引先の多様化により試験の量が増加する傾向であると考えられます。

今回のウェビナーでは自動車産業の中心である中日本エリアのお客様限定に、電動化、自動運転の開発をサポートするべく、環境試験、EMCそれぞれの領域で新たなソリューションをご提案させていただきます。



### ▶「車載 EMC 試験の最新トピック」

**発表：総合製品安全部門 計画室 参与 塚原 仁**

自動車の EV/HEV 化、ADAS や自動運転に代表される高度な技術発展に伴い、車載 EMC 試験への要求や頻度が増加傾向にあります。本セミナーでは、専門家による車載機器の試験における規格や最新動向、試験設備等の解説を行います。

### ▶「JQA 中部試験センター車載機器専用 EMC ラボのご紹介」

**発表：中部試験センター 営業課 主幹 井村 元哉**

日本品質保証機構（JQA）では中部地区でのサービス拡充のため、車載機器専用EMCラボを中部試験センター内に新設し、2021年5月より試験サービスを開始いたしました。

当ラボは車載機器専用の電波暗室を3基、中部地区としては初となるリバレーションチャンバーを導入し、高度な技術発展に伴う多様化するお客さまの試験・評価ニーズにお応えできる体制を構築しております。本セミナーでは新設した車載機器専用EMCラボの設備および導入機器の詳細をご紹介します。

### ▶「自動運転における様々な気象環境を再現する『全天候型試験ラボ』」

**発表：開発本部 技術開発部 環境制御技術開発グループ 瀬戸 治樹**

モビリティ市場や次世代通信市場などの最先端技術では、これまでよりも気象環境の変化の影響を受けやすく、その環境再現が必要となっています。全天候型試験ラボは、全天候（温湿度や雪、雨、太陽光、霧、風）に加え動的気象環境（※）を再現でき、これら信頼性課題を見据え、あらたな開発技術を搭載したものです。本セミナーでは全天候型試験ラボの開発背景と主な特徴について紹介します。（※動的気象環境：刻々と変化する気象環境のこと）



### ▶「自動車電動化による車載機器向け環境試験の変化」

**発表：テストコンサルティング本部 試験部 豊田試験所 宮腰 佳祐**

EV シフトが大きく進展する自動車市場において、車載機器に用いられる環境試験規格も高電圧、大電流の取扱いを考慮したものに変わっています。本セミナーでは、電動車両車載機器の環境試験規格 ISO19453 について、従来から利用されている車載機器規格 ISO16750 との違い、および各試験項目において注目される試験内容をご紹介します。